

氏名 柏木 克則 法科大学院等の在籍年次 既習一年(2L)

*このレポートは主としてこれからインターンシップに行くことを考えている人達に情報提供を行うことを目的とするものです。以下の項目について適宜行数を増やしながら書き込んでいってください。文字数及び頁数に制限はありません。

*このレポートは、記名で法学研究科のウェブサイトに掲載されます。もし氏名掲載を希望しない場合には、その旨をお知らせ下さい。

*重要情報についてはできる限り具体的に記載して下さい。また、後輩の方達に向けた率直なアドバイスをお願いいたします。

受入事務所と滞在期間

TNY 国際法律事務所(TNY Legal Office Co., Ltd.)

8月18日～9月16日

事務所の業務・構成・勤務条件及びインターンシップの内容等

業務：タイに進出する日系企業の法的サポート等

事務所構成：タイ法人、(日本人スタッフ3名(弁護士2名)、タイ人スタッフ8名(弁護士6名))

勤務条件：9:00～17:30 (休憩12:00～13:00) 休日：土日

インターンシップの内容：英文契約書作成、資料和訳、法律相談への同席等

宿舎及びその他の生活環境について

宿舎はバンコク市内のホテルをインターン参加の三人で予約しました。タイ組の参加者は全員男性かつ大学からの知り合いであったため、同じホテルかつ横並びで三部屋を予約しました。一泊2000円程度であったと記憶しています。2000円程度のホテルでもプールがついていたり、ホテル内に食堂があったり、近くにはスーパー(マックスバリューなので日本語の案内や品物も多い)やコンビニ(ファミリーマート)があったりなど最低限の生活には困りませんでした。しかし、Wi-Fiが弱く、事務所からは電車で20～30分ほどかかるなどマイナス面も多か

Internship in Asia

情報共有のためのレポート

ったと思います。僕の部屋ではシャワーのお湯が出ず、一週間ほど水を浴びる生活が続きました。もう1000～2000円ほど高いホテルであればストレスなく生活できると思います。

また、事務所周辺には日本人在駐の薬局やクリニックがあるので、風邪を引いてしまった時も安心でした。

食事はとにかく辛(から)いです。僕自身、辛いものが好きな自負があったのですが、日本のものとは性質が違いました。もちろん辛い食べ物もありますし、タイでの食事はフードコートが多いので好きなものを食べることができます。タイ料理そのものはとても美味しいのでお勧めです。

出発に向けた準備等について

バンコクはかなりの都会なので、準備し忘れたものがあっても、大抵のものは現地で揃えることはできます。ですから、必要最小限の下着やスーツ類などを持っていけば足りると思います。僕の場合、荷物を持って行き過ぎて余計なお金を払ってしまったので、持って行き過ぎないことも大切だと思います。

英語能力については、かなり準備していく必要があります。事務所でのコミュニケーションは全て英語です。また、業務内容もほとんどが英訳や和訳です。スピーキング、リスニング、ライティングの全てについてしっかり勉強しておくことを強く推奨します。

インターンシップに要した費用

- ・ホテル代金約六万円

同じホテルでも予約サイトの違いや秒単位のタイミングの違いで値段が変わることがあります。

- ・食費＋観光費七万円

食費は一食150円くらいなのでかなり安価です。自分が七万円も使ってしまったのは毎週末観光に行ったことと大量にお土産を購入したことが影響したものと思います。

これからインターンに行く人達へのアドバイス等

前述のように、当インターンシップはかなりの英語能力が必要になります。普段の勉強で忙しいかもしれませんが、毎日5分ずつでも勉強しておくことが大切です。また、週末はぜひ遠

Internship in Asia

情報共有のためのレポート

出することをおすすめします。事務所付近は日本人街も多く、バンコク中でも景観がよく治安がいいです。危険な地帯は避けるべきですが、色々な場所を見て、タイで様々な体験をすることで良い経験ができるのではないのでしょうか。

また、タイ在住の弁護士の方、実業家の方などとお食事や勉強会をする機会があるかもしれません。そのような時のために、自身の名刺などを用意していけば便利です。

インターンシップの有用性等に関する評価及び感想

結論から言えば当インターンシップはとても有用でした。英語能力の向上はもちろん、タイで働く日本人法曹の方に会うことで将来の選択肢が広がったと思います。また、純粹にタイを楽しむこともできました。

ただし、これからインターンシップに行く人たちに言うことがあるとすれば、夏休み一か月間に法律の勉強ができないことと当インターンシップで得られる経験を天秤にかけて考えるべきです。実際に、この一か月で自主ゼミを組み、司法試験を潰すという友人が非常に多いです。その期間を犠牲にしてもなおインターンシップに価値があるかどうかは、自分がいかに積極的に行動するかにかかっているかと思います。